

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 3 区分
【発行日】 令和 4 年 3 月 29 日 (2022.3.29)

【公開番号】 特開 2021-39421 (P2021-39421A)
【公開日】 令和 3 年 3 月 11 日 (2021.3.11)
【年通号数】 公開・登録公報 2021-013
【出願番号】 特願 2019-158652 (P2019-158652)
【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/06 (2012.01)
G 0 6 F 3/0481 (2022.01)
G 0 9 B 19/00 (2006.01)
G 0 9 B 9/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 Q 50/06
G 0 6 F 3/0481
G 0 9 B 19/00 H
G 0 9 B 9/00 K

【手続補正書】
【提出日】 令和 4 年 3 月 18 日 (2022.3.18)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0004
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【0004】

上記三次元施工計画システムを用いて作業手順を検討することにより、実際に作業を行う前に、橋梁を架設する各工程において吊り上げ部材が周囲の既設物（例えば鉄道橋、送電鉄塔、及び送電線）と干渉しないことを確認することができる。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0011
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【0011】

実際に現場作業を行う作業者等がシミュレーションの開始を指示すると、まず、現場の環境が表示される。このとき、前記 1 の動作である特定動作が作業者等により指定されていない場合には最初の動作を特定動作として作業環境表示処理部は作業開始前の現場の環境を表示することができる。その後、作業者等が、操作対象物の動作を指定する入力を行うと、画面に表示された現場の環境に、指定した操作対象物の動作が表示される。また、指定した操作対象物の動作及びその順番と、モデル作業手順における操作対象物の動作及びその順番の一致／不一致が判定され、不一致である場合には、作業者等による入力がモデル作業手順と不一致であることが通知される。この通知は、例えば表示部の画面に○×を表示するもの、テキストメッセージを表示するもの、あるいは所定の音を出力するものなど、様々な方法で行われうる。作業者等が操作対象物の動作を指定する入力を行うごとに、上記の処理が繰り返し行われる。

【手続補正 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

一方、使用者がモデル作業手順のシミュレーションを選択すると（ステップ23でYES）、シミュレーション実行部32は、シミュレーションにおける工程を表すjを1に設定する（ステップ25）。また、シミュレーション実行部32は、モデル作業手順の工程jを実施する前の作業現場の状態を表示部42の画面に表示する（ステップ26）。この時点ではj=1であり、モデル作業の工程j(=1)は最初の工程である。従って、この時点では作業開始前の現場の状態が表示部42の画面に表示される）。ステップ26におけるシミュレーション実行部32の動作は、本発明における作業環境表示処理部の機能に相当する。

10

20

30

40

50